

京交山岳部報

例会予告（2018年8月～2018年9月）

| 例会・行先 | 日程・集合 | 担当者 | コース |
|--|---|----------------------|--|
| 第2788回 夏山大会 燕岳～常念岳～ 蝶ヶ岳 | 8月1日（水） ～5日（日） 集合 参加者で 調整 | 清水康裕 山下幸宏 岡本義弘 | 山小屋泊，夏山縦走装備 詳細は参加者で調整 |
| 1日目 京都 9:00～16:00 かじかの里公園キャンプ場（泊） 2日目 キャンプ場～中房温泉・・燕山荘・・燕岳往復・・大天井岳・・大天荘（泊） 3日目 大天荘・・横通岳・・常念岳・・蝶ヶ岳ヒュッテ（泊） 4日目 蝶ヶ岳ヒュッテ・・蝶ヶ岳・・蝶沢三俣～中ノ湯（泊） 5日目 中ノ湯～平湯～高山（東海北陸道・名神）～京都 | | | |
| 第2789回 山の日 君尾山 | 8月10日（金） ～11日（土） 集合 参加者で調整 | 吉田 武 清水康裕 | 10日 京都縦貫～和知IC～R27 ～光明寺林道～君尾山キャン プ場（泊） 11日 キャンプ場・・君尾山 往復～帰路 |
| 備考 テント泊の装備。費用 3,000 円 | | | |
| 第2790回 山伏（やんぶし） (2013m) | 9月1日（土）～ 3日（月） 集合 参加者で調整 | 山下幸宏 | 1日 京都～安倍峠P(テント泊) 2日 山伏往復～梅ヶ島温泉(泊) 3日 帰路 |
| 備考 新静岡 IC から安倍川を詰めます。静岡・山梨県境の山です。 | | | |
| 第2791回 加賀大日山 (△1,368m) | 9月24日（日・祝） 集合 参加者で調整 | 井戸澄夫 | 京都（北陸道）加賀IC～真砂 ・・加賀大日山往復～山中温泉 (入浴)～帰路 |
| 備考 前夜か早朝発で，下山後，山中温泉入浴。 | | | |
| 第2792回 ぐるっと京都一周 トレイル2018秋 東山コース | 9月30日（日） 集合 7:30～9:00 桃山城駐車場受付 →個別スタート | 清水康裕 | 京都一周トレイル東山コース →清水山登山口(初心者コース) →蹴上(中級者コース) →銀閣寺道(上級者コース) |
| 備考・参加希望者は9月3日までに担当者に連絡してください。参加費は2,000円です。 ・アクセス：京阪電車「伏見桃山駅」，近鉄京都線「桃山御陵駅」，JR 奈良線「桃山駅」， | | | |

| | |
|--|---|
| から徒歩15分～25分です。 ・我が部から清水が大会スタッフとして参加します。 | |
| 8月の集会 日時 8月7日(火) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ) | 8月の企画運営委員会 日時 8月20日(月) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ) |
| 9月の集会 日時 9月10日(月) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ) | 9月の企画運営委員会 日時 9月21日(金) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ) |



今年の6月から7月にかけて西日本は自然災害に襲われた。6月18日には大阪北部地震があり、高槻周辺で震度6弱、京都でも震度5強で、ブロック塀の倒壊や家屋の損壊があり死者が出た。規模としては平成7年の阪神淡路大震災以来の大地震である。7月上旬には西日本に豪雨が襲い、広島・岡山・愛媛などで河川氾濫・土砂崩れが頻発し、200名を越える犠牲者が出た。この大雨は梅雨前線を台風7号が刺激したことで発生した。京都でも鴨川や桂川が氾濫寸前まで増水した。地球温暖化の影響であろうか、想定を超える大雨が毎年のように襲ってくる。豪雨が過ぎて梅雨明けになると、今度は猛暑が日本列島を襲っている。京都の19日の最高気温は39.8度を記録して7月としては観測史上最高であり、38度以上の連続日数も過去最高である。23日には熊谷で41.1度を記録し、これは日本の観測史上最高である。この暑さは日本だけでなく北半球全体にわたっている。アメリカ・カルフォルニアでは52度、ノルウェイの北極圏でも33.5度と記録更新している。

地震に大雨に猛暑と続けば次に来るのは大型台風であろう。これも温暖化の影響でますます大型化し、その勢力が衰えることなく日本に上陸する傾向にある。災害に対処する方策は、ハイテク機器を使っただけの情報化により、より正確な予知と情報の周知徹底が図られてきているが、実際に災害が発生したときの対応は計画通りにはいかないものである。住民と行政との緊密な連携が大切になる。災害は忘れた頃にやってくるというが、最近は忘れる間もなくやってくる。従来の治山・治水対策を上回る自然の力をただ呆然と見ているわけにはいかない。かといって膨大なコストのかかる公共事業を進めていくだけの財政力とそれに対する国民のコンセンサスが得られるかも問題である。地球温暖化をめぐっては超大国の大統領がマスコミの作り上げたでっち上げであると言っている現状である。いったい世界は何処へ行こうとしているのだろうか？

6月30日に渡邊智生氏と坂井久光氏の追悼登山で大文字山に登った。渡邊氏は昨年7月に亡くなられた。享年81歳。坂井氏は今年5月に亡くなられた。享年93歳。どちらも京交山岳部の黄金時代を担った方達である。渡邊氏については納山祭でキャンプファイヤーをし、山の歌を歌い合った楽しい思い出がある。水墨画を愛する画人でもあり、氏の出品する南画展に行くと、このような世界があることに驚嘆したものである。81歳は現在の男子日本人の平均年齢であるが、まだま

だ一緒に楽しい山登りをしたかった。坂井氏については、一等三角点の探求で日本の山岳会に名を残された。日本国内の標高500m以上の一等三角点の全て(540余)を自身の足で登ったということだけで、山屋にとっては尊敬の念を抱くのみである。それは千日回峰行をやり遂げた大阿闍梨に対する敬意に似ている。坂井氏の山登りに対する情熱は、時には家庭や仕事より優っていたようでいろんな逸話を残しているが、何かを成し遂げようとすれば何かを犠牲にせざるを得ないということであろう。私の坂井氏への思い出で今も忘れないのは、坂井氏の部報原稿で「城丹国境」とあるところを「上丹国境」と誤読してしまい、部報が出た後、坂井氏から「こんなことも知らんのか?」と叱られたことである。坂井氏の部報原稿の難解さは歴代の部報担当者を悩ませてきたことであるが、そのことを割り引いても「城丹国境」を「上丹国境」と読むことは、京都在住の山屋にとっていかに恥ずべきことであるか、今になれば分かるのである。もっとも「君のことを山屋などと思っははいないよ」とどこかで笑う声が聞こえそうである。お二人とも安らかにお眠りください。
(2018. 7. 24. 記 S. I.)

【第2785回例会】

第57回全日本登山大会 京都大会

おこしやす京の山

清水 康裕

従来型の全日本登山大会は日山協仲間内だけの同窓会となってしまうが、今回の京都大会では大きなチャレンジを考え、大きなチャレンジが行われ、広く近隣の府県からも参加できる全日本登山大会をコンセプトに行われた。

6月16日 オープニングフェスタ 850名参加

岡田さんの車に乗せていただき、亀岡市にある「ガレリアかめおか」へ行った。大倉さんは単独で「ガレリアかめおか」に行かれた。

株式会社モンベルCEO辰野勇氏が記念講演され、山のシンポジウムに登壇ゲスト[辰野勇氏、貫田宗男氏(登山家)、柳沢大貴氏(山小屋経営者)、平山ユージ氏(フリークライマー)、小林由佳氏(フリークライマー)]が行い、最後にプレゼント抽選会が行われた。

6月17日 京都一周トレイルトレッキング 770名参加

我が部は大会スタッフとして京都一周トレイル東山コースで当日申し込みの参加者を引率した。稲荷の細長い公園(元市電の駅であった。)で8:30から受付を行い、約10名の参加者が揃う毎に出発し、大会スタッフが引率した。1番最初に出発する参加者を引率するリーダーは我が部の岡田さんが務め、サブリーダーは一番後ろを歩く役目で駒井さんが務められた。次の10名の参加者の引率スタッフは、リーダーが私でサブリーダーが岡本勇さんで中団を井戸さんが務められた。トレイルコースの稲荷から清水山まで引率した。私のパーティは時間の余裕が生まれたので、トレイルコースを少しだけ離脱し、オプションとして阿弥陀ヶ峰の太閤秀吉の墓までピストンした。参加者は普段眺めてるだけの阿弥陀ヶ峰に思わず登れ喜んでいて。清水山の三角点へ行ったあと、地主神社に下りた。

天気も良く、事故もなく無事で、京都府山岳連盟が一丸となって成し遂げたと思う。

我が部から両日来ていただいた方々に心からお礼を申し上げたい。

最後に、京都府山岳連盟四方宗和会長から我が部に礼状をいただいたことを報告する。

【我が部からの参加者】

6月16日（土）オープニングフェスタ

大倉寛治郎，岡田茂久，方山宗子，吉田武F1，清水康裕 6名

6月17日（日）京都一周トレイルトレッキング 東山コース

井戸澄夫，岡田茂久，岡本 勇，清水康裕 4名

【第2787回例会】30.7.16~18

富士山を眺めよう

高ボッチ高原と黒岳1等三角点

吉田 武

16日

灼熱の中，京都を出る。高速道で岡谷 IC まで走り，R20 号を塩尻峠を越えて少し下った所に高ボッチ高原の看板があった。枝道が沢山あって見わけにくいが何とかルートに乗る。高ボッチ高原には3時ころに着いたが，ガスがかかって何も見えないので，1時間ほど仮眠してキャンプ場を探したが，思っていた所には無く，他の人も適当に邪魔にならないところでテントを張っているの，草地の所にぼくも張り，くつろいでいると係員が来て，ここは原則的にテントは禁止ですと言った。次回からは県知事の許可を取ってくださいと言って去っていた。

日が沈むと北アルプスが赤く染まってシルエットのように浮かび上がったので，早速シャッターを切った。

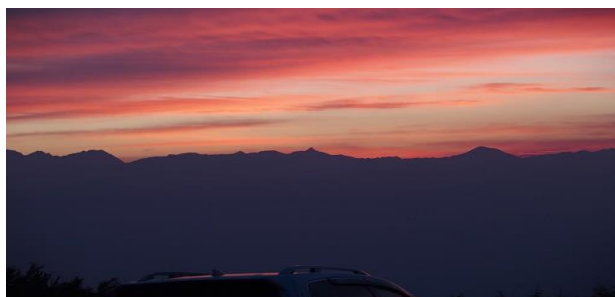
17日

今日は黒岳に登るので早めにテントを撤収して高ボッチ高原を後にする。岡谷 IC から中央道を走り御坂一宮 IC で降りて R137 を御坂町新田から林道に入ったが，途中で通行止めになったので，仕方なく R137 に戻り，R139 を河口湖町に入り西湖の南にある紅葉台に登る。3等三角点があるはずなので登ってみると，山頂広場の端っこに三角点の石だけがかった。実にかわいそう。R139 に戻り鳴沢氷穴と富岳風穴を散策して冷気を養い，白糸の滝を見学して民宿「西の家」に入った。

18日

今朝は富士山が間近に見えると思って早起きしたが，やはりガスがかかっていた。夕立でも降ってくれればと思いながら・・・富士宮市を後に浜松市まで帰り，井伊谷の龍潭寺の庭園を見学して帰路についた。今回は暑さと湿度でガスがかかり，満足に富士山の写真が写せなかった。やはり残雪がある時がいいかも。

【参加者】 他1名



高ボッチ高原より北アルプス



紅葉台3等三角点



白糸の滝



龍潭寺

例会報告 (まとめ)

| 例会 No. | 目的地 | 天候 | 月 日 | 担当者 | 参加者 | 記 事 |
|--------|----------------------------------|----|---------------------------------------|------|--|------|
| 2785 | 全日本登山大会 | 晴れ | 平成 30 年 6 月 16 日(土) ～17 日(日) | 清水康裕 | 16 日 吉田 武 F1, 岡田茂久, 方山宗子 大倉寛治郎 17 日 岡田茂久, 岡本 勇, 井戸澄夫 | 別稿詳報 |
| 2786 | 渡邊智生氏 坂井久光氏 追悼登山 (大文字山) | 曇り | 平成 30 年 6 月 30 日(土) | 清水康裕 | 岡本義弘, 大槻雅弘 鷺見壽末子, 吉田 武 方山宗子, 岡田茂久 大倉寛治郎, 岡本 勇 井戸澄夫 | 次号詳報 |
| 2787 | 富士山を眺めよう | 曇り | 平成 30 年 7 月 16 日(月・祝) ～18 日 (水) | 吉田 武 | 他 1 名 | 別稿詳報 |

雑 報

△△△ 7月の集会

日 時 7月11日(水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 大倉, 大槻, 岡田(茂), 岡本(義), 方山,
森本, 山下, 吉田, 和田, 清水 11名
内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 6月の企画運営委員会

日 時 6月20日(水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 岡本(義), 方山, 吉田, 清水
内 容 例会予告, 岳連関係報告, 70周年記念事業ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

8月号 京都山岳, 趣味の登山, 比良山岳, 木雞

△△△ 平成30年度部費受領について

部費は年間3,000円です。また、郵送希望の方は郵送料1,000円を足して年間4,000円です。
平成30年7月22日(日)現在、先月号までに報告した方々に加え、次の方から平成30年度部費を受領していますので報告します。

(敬称略) 竹村芳廣, 山下幸宏

《新入部員募集中》

平成30年8月1日

京都市右京区太秦下刑部町18

京都市交通局内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>